



さて、その午年ですが、十二支の七番目の干支で、古くから馬は、人々の暮らしに欠かせない存在でした。農作業や移動を助けてくれるだけでなく、神社では「神様の使い」として神馬として奉納されることもありました。そのため、馬は「出世や発展の象徴」とされ、午年は努力や挑戦が実を結びやすい年とも言われています。また、「馬が合う」「うまくいく」といった言葉も日常でよく使われます。午年は、そんな幸運の象徴である馬の力を受け取れる一年とも考えられています。

この午年が首里高生にとって、新しいことに挑戦し、自分を成長させる素晴らしい一年となりますように。そして、幸せや成功が、皆さんのもとに訪れますようお祈りします。

1月6日(火)には3学期始業式が行われました。式に先だつて伝達表彰が行われた後、吹奏楽部の伴奏による校歌斎唱に引き続き、校長あいさつ、生徒会長の平田静香さん(石嶺中)のあいさつ、そしてキャリア推進部主任の西村先生と生徒支援部主任の洲鎌先生、感染対策について養護教諭の比嘉先生からそれぞれお話をありました。引き続き2年生の真栄田夢花さん(浦西中)の司会で、3学期HR役員認証式が行われました。

今年一年も、二度とない高校生活の一日子を大切に過ごし、志を高くもち、自己実現、夢実現、進路実現に向かって努力するとともに、充実した学校生活を送りましょう!

さて、その午年ですが、十二支の七番目の干支で、古くから馬は、人々の暮らしに欠かせない存在でした。農作業や移動を助けてくれるだけでなく、神社では「神様の使い」として神馬として奉納されることもありました。そのため、馬は「出世や発展の象徴」とされ、午年は努力や挑戦が実を結びやすい年とも言われています。また、「馬が合う」「うまくいく」といった言葉も日常でよく使われます。午年は、そんな幸運の象徴である馬の力を受け取れる一年とも考えられています。

さて、その午年ですが、十二支の七番目の干支で、古くから馬は、人々の暮らしに欠かせない存在でした。農作業や移動を助けてくれるだけでなく、神社では「神様の使い」として神馬として奉納されることもありました。そのため、馬は「出世や発展の象徴」とされ、午年は努力や挑戦が実を結びやすい年とも言われています。また、「馬が合う」「うまくいく」といった言葉も日常でよく使われます。午年は、そんな幸運の象徴である馬の力を受け取れる一年とも考えられています。

## 3学期始業式が行われました

### 学生かりゆしデザインコンテスト

今年一年も、二度とない高校生活の一日子を大切に過ごし、志を高くもち、自己実現、夢実現、進路実現に向かって努力するとともに、充実した学校生活を送りましょう!



第7回となる今回は過去最多となる55校4488点の応募があり、本校からは、染織デザイン科の渡嘉敷結菜さん(糸満中)が銀賞、兼村月渚さん(首里中)、久保田愛海さん(南風原中)、國吉叶乃さん(真和志中)、青野花咲さん(与那国中)が優良賞に選ばれました。渡嘉敷さんの作品「ネオンOKINAWA」は、沖縄らしいシーサーやハイビスカスをネオンで表現するとともに、地元糸満市をイメージして、ハーレーのエークやミーカガ

入賞した皆さんをはじめ、染織デザイン科の

先生方、本当におめでとうございます。

今年一年も、二度とない高校生活の一日子を大切に過ごし、志を高くもち、自己実現、夢実現、進路実現に向かって努力するとともに、充実した学校生活を送りましょう!



### 女子弓道全国準優勝!

第44回全国高等学校選抜大会弓道競技・静岡大会が、12月23日(火)から25日(木)までの3日間、静岡県武道館において開催されました。



本校弓道部は沖縄県代表として女子団体に出場、予選を勝ち抜いた32校の一校として決勝トーナメントに進出、全国の強豪校と頂点を争いました。

決勝戦では、愛知県代表・豊橋商業高校と対戦し、惜しくも9-11で敗れました。相手校は12射中11射を的中させる強敵でしたが、序盤に的を外した本校選手たちは最後まで決してあきらめることなく、終盤の6射をすべて的中させる粘り強さを見せました。結果は準優勝となりましたが、当初の目標を上回る成果に、選手たちは大きな手応えを感じたとのことです。

師走の厳しい寒さの中、全国の舞台で堂々とした戦いを繰り広げた、島袋まりかさん(神森中)、佐事佳音さん(首里中)、山内梨央奈さん(南星中)、國場三世さん(山内中)の4名の選手、そして監督の吉長幸弘さん、顧問の保久村先生に、心からの拍手を送ります。